



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東  
 コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井上 伸宏 (TEL) 072-223-3254  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	241,012	20.8	47,969	54.5	48,215	37.4	34,670	35.9
25年12月期第3四半期	199,501	9.2	31,052	△2.5	35,092	18.5	25,506	24.6

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 40,245百万円(△0.4%) 25年12月期第3四半期 40,419百万円(76.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	373.99	—
25年12月期第3四半期	275.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	359,513	302,296	83.8
25年12月期	319,223	270,914	84.6

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 301,284百万円 25年12月期 269,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	43.50	—	43.50	87.00
26年12月期	—	52.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	52.50	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	316,000	16.6	61,000	46.0	61,000	28.3	44,000	25.4	474.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期3Q	92,720,000株	25年12月期	92,720,000株
26年12月期3Q	15,236株	25年12月期	14,538株
26年12月期3Q	92,705,148株	25年12月期3Q	92,706,199株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。実績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、欧州はウクライナ紛争に端を発した対ロシア経済制裁から企業マインドが悪化し、景気回復は足踏み状態が続いています。米国では企業業績や雇用情勢の改善基調が続き、個人消費も持ち直し傾向となりました。

国内におきましては、消費税増税後の個人消費の低迷が色濃く、国内需要への依存度が高い非製造業や中堅・中小企業の景況感がいずれも悪化しました。一方、輸出については円安の進行が追い風となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は241,012百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益は47,969百万円（前年同期比54.5%増）、経常利益は48,215百万円（前年同期比37.4%増）、四半期純利益は34,670百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自転車部品

欧州では8月・9月に天候不順による一時的な小売店での販売落ち込みが見られたものの、暖冬による冬季以降の好調な販売は継続中です。米国では非常に厳しい冬という状況下で販売開始が遅れたものの、春以降の小売店での販売は概ね順調に推移しほぼ昨年並みの水準を維持しています。日本では厳しい冬にも関わらず、小売店でのスポーツタイプ自転車や中高級価格帯軽快車の販売は消費税増税後も堅調を維持していますが、軽快車市場はやや低調に推移しています。また、中国市場におけるスポーツタイプ自転車は引き続き成長を続けており、他の新興国市場においても堅調な伸びを示しています。

なお、市場在庫については、各地域ともに低めあるいは適正範囲内で推移しております。

このような市況のもと、今後の市場動向への期待感に加え、円安による当社製品に対する割安感の追い風を受けたことから多くのご注文をいただき、第2四半期に投入したマウンテンバイクコンポーネントの「ALIVIO」、同じくエントリーモデルの「Tourney TX」、ロードバイクコンポーネントの「105」に加えて、第3四半期に販売開始したロードバイク用ディスクブレーキをはじめとする新製品の販売も順調に推移し、第3四半期の売上は前年を上回ることができました。

この結果、当セグメントの売上高は196,437百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は44,707百万円（前年同期比53.5%増）となりました。

#### ② 釣具

国内市場では、7月には豪雨、8月には台風の影響や全国的な天候不順により大雨や洪水被害が各地で発生したことによる消費者の釣り機会減少、ガソリン代に代表される物価上昇等による節約など消費の足踏み状態が影響した結果、小売市場は厳しい状況となりました。9月になりようやく天候も安定し各地で釣果も聞かれ回復の兆しが出てきました。このような市況のもと、当社製品においては、3月発売の「NEWステラ」などの新製品において市場の高い評価を受けたことにより前年の売上を上回ることができました。

一方、海外市場は、全体的に円安進行の追い風も受けたことで販売は堅調に推移しました。特に、欧州および豪州市場の小売店販売は順調に推移しました。また、アジア市場においても、経済成長の鈍化はありましたが販売は堅調に推移することができました。

この結果、当セグメントの売上高は44,287百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は3,344百万円（前年同期比63.7%増）となりました。

#### ③ その他

当セグメントの売上高は287百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失は82百万円（前年同期は営業損失108百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

### ①資産・負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は359,513百万円（前連結会計年度比40,290百万円の増加）となりました。これは、現金及び預金が9,604百万円、商品及び製品が7,317百万円、建物及び構築物が6,887百万円、仕掛品が4,001百万円、その他流動資産が2,991百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は57,217百万円（前連結会計年度比8,908百万円の増加）となりました。これは、未払法人税等が2,870百万円、買掛金が2,813百万円、その他流動負債が1,259百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は302,296百万円（前連結会計年度比31,381百万円の増加）となりました。これは、利益剰余金が25,770百万円、為替換算調整勘定が5,554百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、欧州では、欧州中央銀行が一層の金融緩和政策を打ち出したことにより、内外需の緩やかな回復を受けた景気の持ち直しが期待されるものの、対ロシア経済制裁の長期化、フランスおよびイタリアの景気の低迷など引き続き懸念材料が見られます。米国では、全般的に概ね回復基調にあることを受け、米連邦公開市場委員会にて量的金融緩和政策の第3弾（QE3）を10月末で終了する方針が示され、経済指標次第では2015年に利上げが実施される可能性もあり、動向が注目されます。また、景気の減速傾向が強まりつつある中国につきましては、政府目標の成長率を達成するための政策実施の有無に注目が集まっています。

国内においては、消費税増税の影響が長期化しており、停滞感が続くものと見られます。輸出については、海外経済の回復や円安傾向を背景に緩やかに増加していく見通しです。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成26年7月29日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高316,000百万円、営業利益61,000百万円、経常利益61,000百万円、当期純利益44,000百万円とさせていただきます。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

#### 特定子会社以外の子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、Shimano Menat Spor Etkinlikleri Spor Malzemeleri ve Ekipmanlari Ticaret Limited Sirketi及びShimano Bisiklet Parca ve Ekipmanlari Satis Servis Ticaret Anonim Sirketiについては新規設立により、Douglas Johnson & Co Limitedについては株式の取得により、連結範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、Shimano Italy Bicycle Components S.R.L.については新規設立により、連結範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	128,796	138,400
受取手形及び売掛金	30,899	33,477
商品及び製品	28,293	35,611
仕掛品	17,145	21,146
原材料及び貯蔵品	4,718	5,685
繰延税金資産	2,718	2,648
その他	3,464	6,455
貸倒引当金	△296	△232
流動資産合計	215,740	243,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,988	36,875
機械装置及び運搬具(純額)	16,844	17,472
土地	11,814	12,711
リース資産(純額)	30	36
建設仮勘定	11,283	10,252
その他(純額)	4,836	5,861
有形固定資産合計	74,798	83,209
無形固定資産		
のれん	3,997	4,443
ソフトウェア	2,834	2,761
その他	5,604	6,337
無形固定資産合計	12,437	13,542
投資その他の資産		
投資有価証券	12,361	12,891
繰延税金資産	1,280	1,564
その他	3,071	5,602
貸倒引当金	△465	△489
投資その他の資産合計	16,247	19,568
固定資産合計	103,482	116,320
資産合計	319,223	359,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,935	14,748
短期借入金	6,130	7,228
未払法人税等	5,593	8,464
繰延税金負債	315	288
賞与引当金	1,524	2,547
役員賞与引当金	184	140
工場建替関連費用引当金	596	44
その他	14,278	15,537
流動負債合計	40,559	48,999
固定負債		
長期借入金	3,159	2,883
繰延税金負債	1,051	1,111
退職給付引当金	2,710	3,481
その他	827	741
固定負債合計	7,749	8,217
負債合計	48,308	57,217
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,823
利益剰余金	204,388	230,159
自己株式	△58	△67
株主資本合計	245,765	271,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,080	3,052
為替換算調整勘定	21,149	26,703
その他の包括利益累計額合計	24,229	29,755
少数株主持分	919	1,012
純資産合計	270,914	302,296
負債純資産合計	319,223	359,513

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	199,501	241,012
売上原価	127,605	146,727
売上総利益	71,896	94,284
販売費及び一般管理費	40,844	46,315
営業利益	31,052	47,969
営業外収益		
受取利息	661	721
受取配当金	158	705
為替差益	3,293	—
その他	526	585
営業外収益合計	4,639	2,012
営業外費用		
支払利息	241	247
為替差損	—	837
その他	357	681
営業外費用合計	598	1,766
経常利益	35,092	48,215
特別損失		
工場建替関連費用	385	804
特別損失合計	385	804
税金等調整前四半期純利益	34,706	47,410
法人税、住民税及び事業税	9,092	12,888
法人税等調整額	60	△177
法人税等合計	9,153	12,710
少数株主損益調整前四半期純利益	25,553	34,699
少数株主利益	47	28
四半期純利益	25,506	34,670

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,553	34,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,789	△28
為替換算調整勘定	13,075	5,574
その他の包括利益合計	14,865	5,546
四半期包括利益	40,419	40,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,274	40,196
少数株主に係る四半期包括利益	145	49

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付引当金の割引率の変更)

当社は、期首時点の計算において適用した割引率は2.0%でしたが、第2四半期末時点において再検討を行った結果、割引率の変更により退職給付債務の額に影響を及ぼすと判断し、割引率を1.5%に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,055百万円減少しております。なお、報告セグメントに与える影響については、当該箇所に記載しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	159,180	40,039	281	199,501	—	199,501
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	159,180	40,039	281	199,501	—	199,501
セグメント利益又は損失(△)	29,117	2,043	△108	31,052	—	31,052

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	196,437	44,287	287	241,012	—	241,012
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	196,437	44,287	287	241,012	—	241,012
セグメント利益又は損失(△)	44,707	3,344	△82	47,969	—	47,969

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 (追加情報)に記載の通り、第2四半期連結会計期間末に退職給付引当金の割引率の変更を行っております。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「自転車部品」で745百万円、「釣具」で282百万円それぞれ減少し、「その他」のセグメント損失は27百万円増加しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。